

<日本史探究③⑨> 鎌倉時代② 教科書: P.92~P.95

① 守護と地頭

① (1.)年におかれた**地頭**は、国単位におかれ、(2.)と呼ばれた。当初、(3.)の徴収権が認められていたが、貴族の反発が強く、翌年に停止された。一方**守護**は、(2)の権限のうち(3)徴収の権利を除いて、一国の軍事指揮権のみが認められたもので、(4.)と呼ばれた。(2とも呼ばれていた)

② **守護**は原則として各国に1人ずつおかれ、主に東国出身の有力御家人が任命され、**地頭**と兼任した。その任務は(5.)などで、国内の御家人を指揮して治安の維持にあたり、戦時には国内の武士を統率した。(5)の内容は、諸国の御家人を、天皇・院の御所を警護させる(6.)に就かせるものである(7.)・(8.)の逮捕・(9.)の逮捕である。

③ **地頭**は御家人の中から任命され、おもに平家没官領を中心とする謀叛人の所領跡におかれることになった。これは、(10.)ごとにおかれたものなので、**荘郷地頭**ともいう(←地頭を指すのはコッチ)。その任務は、(11.)や土地管理・治安維持などであった。

② 封建制度

① 将軍と(12.)との主従関係が幕府支配の根幹となった。当時の武士は、**開発領主**の出身者が多く、先祖から引き継いだ一族の所領を維持したい、と願っていた。そこで、将軍は、(12)を主に地頭に任命することで、先祖伝来の所領の支配権を保障する(13.)や、功績によって新たな所領の支配を与える(14.)によって、(12)に(15.)を与えた。

(1) 鎌倉時代に将軍と主従関係を結んだ武士のことを？	()
(2) 将軍が(1)に先祖伝来の所領支配を保障することを？	()
(3) 功績によって、将軍が新たな領地を(1)に与えることを？	()

② この(15)に対して(12)は、戦時には軍役を、平時には(6)や幕府御所を警護する鎌倉番役などの(16.)にはげんだ。

(1) 将軍の与える恩恵と御家人の奉仕のことを？	()	と	()
--------------------------	-----	---	-----

③このように土地の給与を通じて、主人と従者が(15.)と(16.)の関係によって結ばれる制度を(17.)というが、鎌倉幕府は(17.)に基づいて成立した最初の政権だった。

④全国の御家人を統率するため、源頼朝は各地に地方機関を設置した。1185年には九州に(18.)を、京都に(19.) [朝廷と幕府との交渉などが目的]を、1189年には東北に(20.)を設置した。

(1) 1185年に京都の治安維持、朝廷との交渉などの目的をもって設置された、鎌倉幕府の機関は？ ()

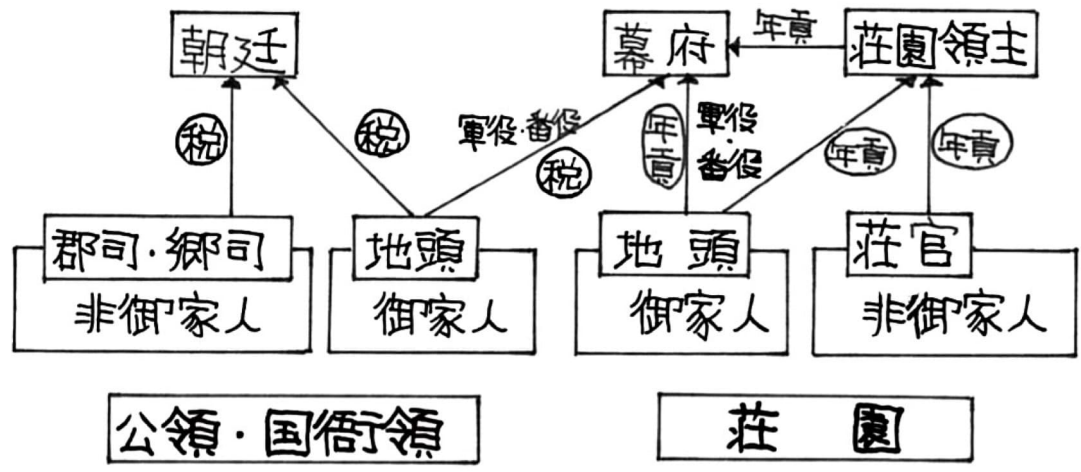
⑤また、頼朝は1185年に、親幕派の公卿であつた(21.)を、幕府の意向を朝廷に反映させるために、(22.)という役職に任命した。

⑥幕府の財政基盤は、莫大な荘園であつた。その1つである(23.)は、平氏から奪った平家没官領が主で500カ所ほどあつた。また、将軍が知行国主となる(24.)は(25.)カ国あつた。また、幕府は守護や国府の在庁官人に命じて土地台帳である(26.)を作成させた。

(1) 鎌倉幕府の経済的基盤のうち、将軍が荘園領主として支配した荘園を何という？ ()

⑦幕府と朝廷との関係は、(27.)と呼ばれる朝廷の法令や宣旨で定められていて、朝廷と幕府がそれぞれ支配している(28.)の状況だった。

幕府は、東国以外でも支配の実権を握ろうとしたために、守護・地頭と国司・荘園領主とのあいだで次第に紛争が多くなり、幕府と朝廷の対立が強まった。



3 北条氏の台頭

①指導力のある源頼朝の時代には、将軍独裁政治が行われたが、1199年に頼朝が没すると、(29.)が勢力をのびた。(29)は、頼朝の妻<30. >の実家で、平氏の血をひく一族であった。(30)は、頼朝の後を継いだ<31. >の独裁をおさえるため、父である<32. >を中心とする、有力御家人十三人の(33.)によって政治を行うようにした。

- | | |
|----------------------------------|-----|
| (1) 源頼朝の死後、勢力をのびた一族は？ | () |
| (2) 源頼朝の妻になった人物とその父親は？ () & () | () |
| (3) 源頼朝の死後、2代将軍となった人物は？ | () |

②こうしたなか有力な御家人のあいだで幕府の主導権をめぐる争いがおこり、1200年には石橋山の戦いで活躍した<34. >が戦死し、1203年には、(31)の妻の父<35. >が(31)と結んで北条氏打倒を企てたが失敗し、(32)によって滅ぼされた。このとき(32)は、(31)を(36.)の(37.)に幽閉し、翌1204年に暗殺した。

③1203年、(32)は将軍の(31)を廃し、弟の<38. >を将軍に立て、みずからは^{おもえのひろもと}大江広元と並んで(39.)になって政治を主導し、彼の地位は(40.)と呼ばれた。幕府政治の実権を握った(32)は、1205年には、有力御家人であった<41. >も滅ぼした。

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| (1) 鎌倉幕府の3代将軍は？ | () |
| (2) (1)を将軍に立て、政所別当になって政治を主導した人物は？ | () |
| (3) (2)は政所別当に就任することで、最初の何となった？ | () |

④1205年、(32)は自らの後妻の娘婿を将軍に立てようとして失敗したため、引退させられた。その(32)のあとを継いで(39)となった子の<42. >は、1213年、有力御家人の<43. >を滅ぼして、(39)に加えて(44.)も兼任した。これにより(45.)の地位は高まり、以後、(45)は実権をにぎる北条氏の地位を指すことばとなった。

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| (1) 父である北条時政を引退させて、あとを継いだ人物は？ | () |
| (2) 1213年に(1)は、ある有力御家人を滅ぼしたが、その人物は？ | () |

4 源氏の滅亡と承久の乱

①後白河法皇の没後、<46. >が院政を展開し、朝廷の勢力回復をはかっていた。(46)は、新たに(47.)を置いて朝廷の軍勢力を強化した。

(1)鎌倉幕府成立後、院政を開始して朝廷の勢力を回復させようとする動きの中心になった人物は？ ()

②その中で1219年、上皇との連携をはかっていた将軍<48. >が、鎌倉の鶴岡八幡宮で、源頼家の子<49. >によって暗殺され、源氏の血筋が絶えた。そこで、<42. >は、摂関家から幼少の<50. >を迎え、1226年に将軍に任じられた。以後2代つづく摂関家出身の将軍を、(51.)という。

(1)鎌倉幕府の4代将軍として、京都から迎えられたのは？ ()
(2)鎌倉幕府の4代・5代将軍のことを何と呼んだか？ ()

③(48)の暗殺事件をきっかけに、(42)の皇族を将軍にまねく交渉を(46)は拒否し、(52.)年、<53. >追討の宣旨を発し、畿内・西国の武士を動員して挙兵した。しかし、東国の武士の大多数は<54. >の呼びかけに応じて、幕府側に結集した。幕府は、(53)の子<55. >、弟の時房が率いる軍を京都に送り、わずか1か月で勝利をおさめた。これが(56.)である。

(1)後鳥羽上皇が宣旨・院宣を発しておこした、鎌倉幕府打倒の戦いを？ ()
(2)(1)のとき、追討の対象となった人物は？ ()
(3)(2)の子で、(1)で京都に攻め上がった人物は？ ()

④この(56)の後、幕府は後鳥羽・土御門・順徳の3上皇を、それぞれ(57.)・(58.)・(59.)に配流し、<60. >天皇にかえて後堀河天皇を立てた。そして、京都に(61.)を、従来の京都守護に代わって設置し、朝廷の監視と、西国における御家人統制や行政・司法を担当させた。

(1)承久の乱後、後鳥羽上皇はどこに流されたか？ ()
(2)承久の乱後、新たに京都に設置した幕府の機関は？ ()